



問 防災無線では気密性の高い屋内には情報を伝達できないのでは

突然の豪雨等から命を守るには洪水・土砂災害ハザードマップの対象区域に、確実、迅速に避難情報を伝えなければならない。現在の防災無線システムでは、豪雨の状況で気密性の高い屋内に避難情報を伝達することは不可能であり、各家庭に防災ラジオを配置しなければならないと考える。国から財源が7割措置され、既設のシステムより安価で運営可能なため、検討してはどうか。

答 情報伝達の多重化により対応している

令和4年度の基本構想策定時に、同ラジオも含む別システムも検討したが、機能、導入実績、費用対効果を比較して現行システムを継続することとした。今回の更新では、新たな機能を追加する等、機能強化を行う予定であるが、全体的なシステム更新をする時期が来たら、改めて別システムの導入についても検討する。音が聞こえにくいといった問題に対しては、防災無線以外に、緊急速報メール、電話応答やファクス送信サービス、津市のホームページなど、様々な方法で情報伝達の多重化を図るとともに、FM放送による緊急告知放送等で対応している。

その他の質疑・質問

- 脱炭素について
- 農業用ため池の仮設道路について
- 林業振興について
- 一志地域の道路政策について
- 電話交換機の老朽化について
- 奨学金について
- 奨学金ファンドについて

▶
他市で使用されている防災ラジオ(豊田市より提供)



問 香良洲海岸の松枯れへの対応について問う

香良洲海岸の砂浜は減少し、飛沫帯や砂浜では、^{ひまつ}松くい虫被害が大変多くなっている。

海岸や堤防を散歩される市民からは、どうしてここまでほったらかしにするのか、倒れてきたら怖い、このままでは全滅してしまうと心配する声があるが、海岸の管理者である三重県に対してこうした市民の声をしっかりと届け、対応を働きかけているのか。

答 管理者である三重県に対し、引き続き要望していく

香良洲海岸の松の枯れは、マツ材線虫病によって引き起こされていることが管理者である三重県によって確認されている。

現在、三重県が被害状況を注視しながら枯れた松の伐倒処理を行っているところであり、令和3年度と5年度にそれぞれ5本ずつが伐倒処理された。

景観形成と防風林としての役割を担う松であることから、マツ材線虫病に係る効果的な予防や病害虫駆除、伐倒処理も含めた措置に取り組むよう、引き続き三重県に要望していく。

その他の質疑・質問

- 香良洲海岸のバーベキューごみの放置について
- 津市北部への防災物流施設の建設について
- 津市職員定数条例改正後の職員体制について
- 令和6年度の市職員の新規採用の状況について
- 定年引き上げ制度開始後、初となる定年引き上げ職員の配置について
- 職員の名札を見直す考えは

▶
松くい虫被害(マツ材線虫病)によって枯れた香良洲海岸の松

